

Network SI'er Report

第79期中間期(第2四半期累計期間)株主通信 2010年4月1日~2010年9月30日

10月1日、本社移転。

当社が提唱するオフィス改革「EmpoweredOffice」を自ら実践

トップインタビュー

新たな成長に向けて
「進化」と「新化」を加速させていきます。

TOPICS

好評開催！
お客様向けオフィス見学ツアー
江坂(大阪)に
オフィスサービスセンターをオープン。

財務ハイライト

セグメント別事業概況

会社/株式情報



TOP Interview

クラウド化やグローバル化など、
市場環境が大きく変化するなか、
飯田橋に本社を移転させ
新たな成長に向けてスタートを切った
「NECネットエスアイ」。
その、いまと明日への展望を
山本社長に語っていただきました。

新たな成長に向けて「進化」と「新化」を加速



当中間期(第2四半期累計期間：
2010年4月1日～9月30日)の業績は
いかがでしたか？

当中間期の業績につきましては、前年同期比で減収・減益となりましたことを真摯に受け止めています。

ただ厳しい市場環境にあるなかで、当社の事業における成果と課題が、はっきりと見えてきました。

セグメント別では、業績を伸ばしたいと計画していた企業ネットワーク事業と社会インフラ事業が伸びており、新たな成長に向けた布石が打てたものと考えています。社会インフラ事業においては、政府の地域情報化需要を着実に取り込むことができました。また、企業ネットワーク事業においても、投資の回復を積極的に掘り起こしてきた成果だと思っています。

一方で、通信事業者向けを中心としたキャリアネットワーク事業の業績が減少したため、全体としては期初の予想に届かない結果となりました。当初から、通信事業者向けの需要は厳しくなると予想していたものの、その対策が十分でなかったと反省しています。

また、営業利益につきましては、販売管理費などの間接費を効率化したものの、直接費にあたる原価低減への取り組みに課題を残しました。

下期以降は、当中間期の成果をしっかり伸ばしていくとともに、課題については、既に具体的な取り組みを進めており、これにより通期目標の達成を目指します。



経営の基本方針と戦略、
下期以降の取り組みについて
お聞かせください。

当社では、経営の基本方針として、かねてから経営改革・経営品質強化活動を推進しており、これを基本に、成長力と収益力の強化に向けた取り組みを進めています。

当社を取り巻く市場環境は、現在大きな変化の過程に入っており、そのなかで、特に当社の事業にとって大きなテーマが、クラウド^{*}化に代表されるICT^{*}をサービスとして利用しようという動きです。

当社では、このような市場の変化は大きなチャンスと考えており、従来の事業の延長線上でそれを強化する「進化」、それと、新しい

させていきます。

事業をつくりだしていく「新化」、この2つをテーマとして、新たな成長軌道をつくりだしていきたいと考えています。

当中間期に大きく伸びた社会インフラ関連においては、地域情報化に加え、無線のデジタル化による消防・防災システムなど様々なニーズをとらえながら、収益性の確保を含めてしっかりと対応していく体制を構築していきます。企業向けでは、新本社をショールームとして活かし、オフィス改革ソリューション「EmpoweredOffice[※]」を核として事業拡大を図っていきます。

また、今後期待される成長分野であるデータセンターを活用したクラウド関連事業や環境関連事業においても、従来に増して積極的に取り組んでいく方針です。

そのためにも、お客様への高い提案力を持った人材育成を推進していきます。お客様の課題をしっかりと聞いて、それに対して最適なコンサルテーションやコーディネーションのできる人材の質と量が、事業の競争力につながると考えているからです。

 このたびの本社移転は、どのような意義があるのでしょうか。

当社はこれまでも、オフィス改革ソリューション「EmpoweredOffice」を、旧東品川本社に導入してきており、そのノウハウをさらに進化させたのが、今回の飯田橋本社移転です。全社的には、オフィスのスリム化および働き方にあわせたオフィスづくりに取り組みました。

これは、将来の成長に向けて会社を変えていくという、大きな経営目標に向けた取り組みの1つです。

この本社移転によるオフィス改革は、社員自らがビジネスの創造性を向上させ、今まで以上にお客様の目線に立った、より付加価値の高い提案を行うための重要な投資でもあります。さらに、飯田橋という営業活動に適した地で、より多くのお客様と接し今まで以上に社員のスキルや提案力を高めることで、当社の高い競争力を強化できると確信しています。

当社の将来に向けて、会社を常に改革していくための場、それが新本社だと考えています。



代表取締役執行役員社長
山本 正彦

※クラウド

正式にはクラウド・コンピューティング。業務アプリケーション等のソフトウェアをはじめ、サーバやストレージ、ネットワーク等のICT基盤など、従来、企業や官公庁などが自前の施設内で構築、管理していたICTリソースを、ネットワーク経由でサービスとして利用する形態のこと。

※ICT

Information and Communication Technology (情報通信技術)の略。

※EmpoweredOffice (エンパワードオフィス)

当社の提供するオフィス改革ソリューション。当社の強みであるICTとファシリティ施工力を融合し、より知的で創造的なワークスタイルへの業務プロセス改革を実現するとともに、セキュリティ強化や環境対応力といった社会的責任に応える「働き方」と「働く場」の改革を提案するもの。

▶▶ 最後に株主様へのメッセージを
お願いいたします。

近年の市場環境は、短期的には円高などの影響もありますが、中長期的には当社にとって大きな事業機会があると考えています。

そのためにも、社員一人ひとりの価値を高めるとともに会社の価値を向上させ、最終的にはお客様および株主様にとっての価値向上にこだわるビジネスを推進していくことが重要だととらえています。

今回、株主様のご支援のおかげで本社を東京の中心に位置する飯田橋に移転することができました。当社はあと3年で創業60周年を迎えますが、この新天地を軸に、新たな成長に向けた取り組みを加速していきます。

株主様におかれましては、今後も、私たち NEC ネットズエスアイの様々なチャレンジを温かく見守っていただき、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOP Interview and MORE...

オフィス改革ソリューション「Empower

NEC ネットズエスアイは、10月1日の飯田橋への本社移転に伴い、自ら全社 Empower

オフィス改革を通して経営改革へ。
「EmpoweredOffice」の目的です。

EmpoweredOfficeとは「スペースや無駄なオフィスコストはOFFし、ワークはプラスする」オフィス改革のコンセプト。飯田橋新本社の全社 EmpoweredOffice化は、当社の成長戦略に沿った経営改革の一翼を担うものです。

経営改革としてのオフィス改革

ネットワークSI'er国内No.1を目指して！
年間売上高3,000億円 (2012年度目標)

成長に向けた進化と新化

将来に向けて“会社を変える！”

飯田橋新本社オフィス改革。

成長し続ける強い企業へ

スペースや無駄なオフィスコストを削減

働き方を改革し、経営改革につなげる



redOffice]とは。

EmpoweredOffice

dOffice化を実践。これからのオフィスのありかたを発信していきます。

働く場を変えて、働き方を変える 「EmpoweredOffice」。

情報を素早く集め、素早く判断し、素早く展開するスピード感ある経営を。そのためには、一人ひとりの意識を改革し、行動を変えていくこと、また人材や知恵を結集し、新しい発想や創造性を高めることが課題となります。これをオフィス環境の改革で実現するのが「EmpoweredOffice」です。

現場の社員が自分たちで つくりあげるオフィス改革。

オフィス改革は、社員一人ひとりの意識と行動を変革する場づくりです。飯田橋新本社では、各フロアのオフィス検討チームを中心に現場の社員が自分たちのオフィスづくりを提言。全社をあげた取り組みをいまも継続しています。

本社ビルでの実証結果をもとに 「EmpoweredOffice NEXT」へ。

EmpoweredOfficeは、常に「進化」と「新化」を続けます。このたびの新本社での実証結果をもとに「知識創造型生産革新オフィスの実現」「クラウド時代バーチャルオフィスの実現」など新コンセプトを検討しており、「EmpoweredOffice NEXT」の提供を目指します。

空間とICTを融合させ新たな働き方にチャレンジ

ノーペーパー・ワーキング

資料は印刷しない
コラボレーション
ワーク



チーム ワーキング

すぐ集まり、
すぐワークできる
無線LAN/
プロジェクター



ゼロディスタンス・オフィス

離れた拠点との
一体感と戦略・
施策の統制



クリエイティブ・ワーキング

ICTと空間を
活かして
新たな成長に向けた
チャレンジの場を
用意



EmpoweredOffice NEXT

知識創造型生産革新オフィス、 クラウド時代バーチャルオフィスの実現へ



好評開催！ お客様向けオフィス見学ツアー



多くのお客様をお迎えしています。

飯田橋新本社では、10月14日・15日に、オープニングセミナーおよびオフィス見学ツアーを開催し、多くのお客様にご来社いただきました。

その後も当社のEmpoweredOfficeを見て、触って、体感できるお客様向けオフィス見学ツアーを開催しており、見学ツアー開始以来、多くのお客様から好評を得ております。

特に、ペーパーレス化・スリム化へ熱い関心が寄せられ、オフィス移転やオフィスリニューアルといった実際の商談へつながってきております。

**多くの企業から熱い注目を浴びる
オフィス改革のブランド、
「EmpoweredOffice」。**

「経営トップ主導で、現場の社員が主体となっていくオフィス」というオフィス改革のコンセプトに多くの方に共感いただき、以前にも増して経営トップ層のお客様が増え、「EmpoweredOffice」というブランドが認知・浸透しつつあることが実感されました。今後のオフィス改革の機運の高まりと市場の広がりが期待されます。

**オープニングセミナー
& オフィス見学ツアー**

2010年10月14日(木)・15日(金)開催

ご参加者数 / 2日間合計

101名・66社



オープニングセミナー



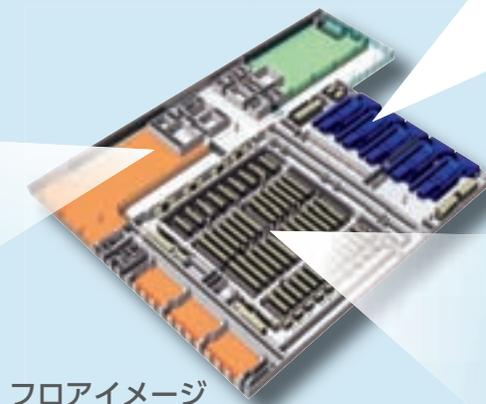
オフィス見学ツアー

江坂(大阪)にオフィスサービスセンターをオープン。

成長の柱であるサービス事業拡大に向けて 西日本エリアでのワンストップ サービスの拡充を図ります。

オフィスエリア (EmpoweredOffice)

専門の技術者が複合的な障害に
迅速かつ効果的に対応



フロアイメージ

ネットワーク オペレーションセンター

24時間365日お客様システムを
監視・運用



マシンルーム

最新のセキュリティ対策・防災
設備等により
お客様システムを保護

当社は、これまで以上にお客様のご要望に応え、質の高いサービスを提供することで事業の拡大を図っていきたいと考えています。

そのため、西日本エリアにおいてこれまで分散していたお客様システムの監視や保守・運用サービスといった各種サービス機能を一か所に集約したオフィスサービスセンターをオープン。これにより、全国のお客様に対してより安心なワンストップサービスが提供できるサービス事業基盤を強化しました。

提案から設計、構築、保守・運用サポートまで、ワンストップサービスを提供。

本センターの大きな特長は、お客様との窓口となるネットワークオペレーションセンターのバックに、どんなトラブルにも対応できる様々な情報通信分野に精通した技術者がそろっていることです。これにより、システムの提案から設計、構築、保守・運用サポートまで、お客様に最適な全てのサービスを素早く提供できます。従来にも増して「お客様の業務を止めない」「お客様を待たせない」「お客様に合ったサービス」

を総合的にご提供いたします。

サービス事業拡大に向けて。

当社は、これまでも、東京に「ネットワーク統合オペレーションセンター」や「都市型データセンター」などお客様に安全で高品質なサービスをお届けするための事業基盤を構築してまいりました。

本センターは、クラウドを見据えたサービス事業拡大に向け、西日本エリア(関西・西日本・中部)における中核拠点として、事業の更なる成長を図ります。

企業向けと地域情報化関連が受注拡大。 営業利益は総コスト削減により前年同期レベルを確保しました。

当中間期の
チェックポイント

- 1 ICT投資回復の動きをとらえ、金融業・製造業向けを中心に、企業ネットワーク事業の受注が増加しました。
- 2 官庁・自治体向けを中心に社会インフラ事業の売上が拡大しました。
- 3 データセンターやコンタクトセンター、環境関連など今後の成長分野に着実な成果をあげました。

Q>> 当中間期の受注高と売上高はいかがでしたか？

受注高および売上高につきましては、前年同期比で微減となりましたが、今後の成長に向けた確かな布石を打つことができました。

企業向けでは、ICT投資の回復をとらえて、EmpoweredOfficeを柱とした提案活動を強化し、金融業・製造業向けを中心に受注を伸ばしました。また、データセンターやコンタクトセンター、環境関連など、今後の成長が期待される分野にも着実な事業の広がりを示すことができました。

地方自治体等を中心とした地域情報化関連では、シェア拡大を目指した積極的な営業活動を行ったことにより、受注高、売上高ともに大きく伸ばしました。

一方、通信事業者向けでは、投資抑制の影響を受け、移動体基地

局関連工事やNECグループ向け支援業務が減少したほか、海外向けインフラ工事も減少しました。

Q>> 当中間期の営業利益と四半期純利益はいかがでしたか？

当社では、経営改革活動を継続・強化し、業務プロセス改革やワークスタイルの変革など、全社一丸となって総費用の効率化と収益体質強化に努めてまいりました。これにより、売上高減少のなか、ほぼ前年同期並みの営業利益を確保いたしました。経常利益につきましては、為替差損が発生し、30億円(前年同期比9.9%減)となりました。また、四半期純利益につきましては、本社移転などによる特別損失を19億円計上したことにより、5億円(前年同期比71.8%減)となりました。

■中間期 ■通期 (単位：億円)

受注高

1,070億円

(前年同期比2.6%減)



売上高

982億円

(前年同期比1.1%減)



営業利益

31億円

(前年同期比5.3%減)



四半期純利益

5億円

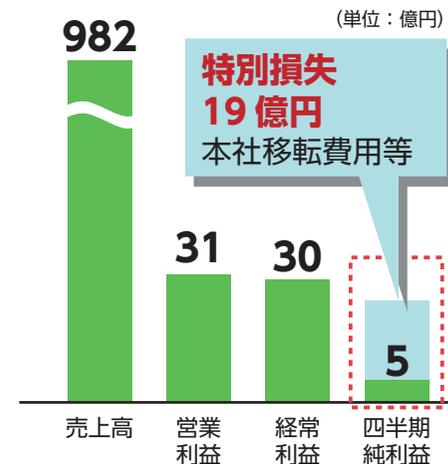
(前年同期比71.8%減)



当中間期において四半期純利益に及ぼした影響は、本社移転等に伴う特別損失の計上による一時的なものです。

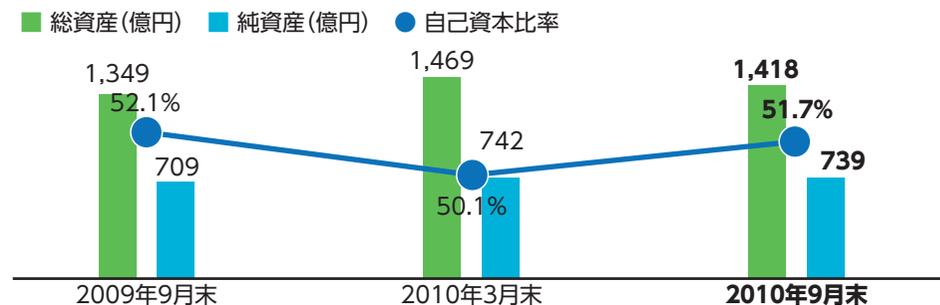
当中間期におきましては、本社移転などによる特別損失を19億円計上いたしました。なお、フロア費用の削減やペーパーレス化などの「働き方改革」により年間10億円以上のオフィス関連費用削減を目指しております。

通期につきましては、期初予想どおり当期純利益を47億円と予想しております。



●財務体質は高い安全性を維持しております。

当中間期末(2010年9月末)の自己資本比率は、51.7%となりました。今後も成長に向けた投資とのバランスを取りながら、健全な財務体質の維持に努めてまいります。



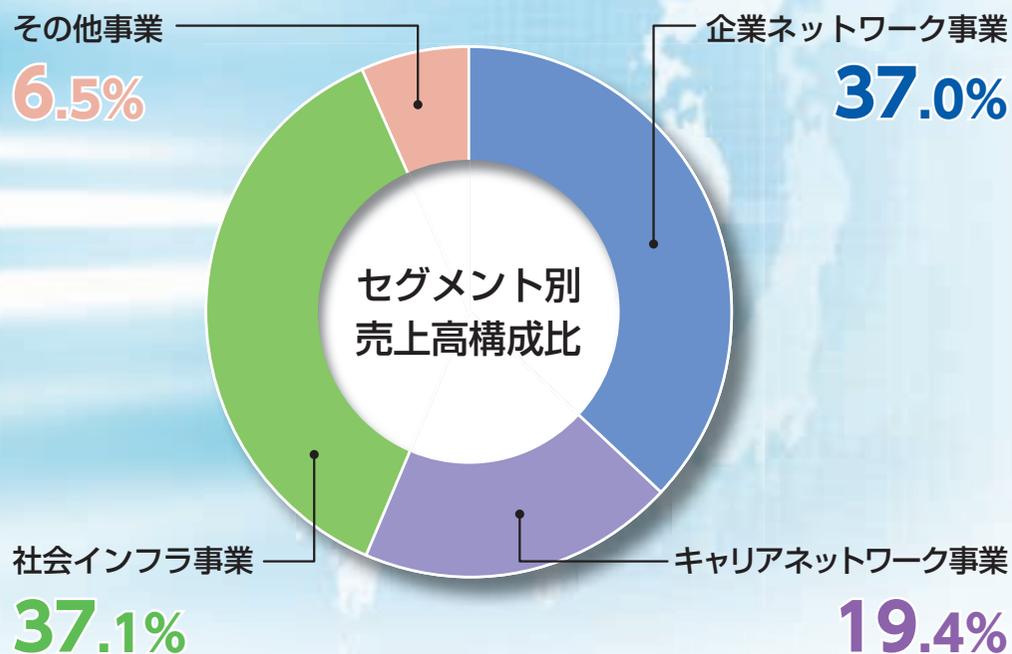
※予想値は、2010年10月28日現在のものです。

セグメント別 事業概況

中長期的な成長に向け、
お客様の視点に立った
サービス事業強化を目指した
事業セグメントに変更しました。

当社は、【企業ネットワーク事業】、【キャリアネットワーク事業】、【社会インフラ事業】の3つの事業を柱に、企業内のICTから公共・社会インフラにいたる幅広い分野で、企画からシステム設計、保守・運用までの一貫したサービスをお客様に提供しています。

お客様の視点に立った提案力とあらゆるネットワークに関するノウハウ・技術力を活かし、幅広いお客様の価値向上をサポートいたします。



企業ネットワーク事業

主に、企業向けにICTソリューションを提供しています。ICTを核にセキュリティや環境等の対応まで含めた総合オフィスソリューションや、これらに関する運用・監視、アウトソーシングサービスならびに自社データセンターによるクラウドサービスの提供などを行っています。



売上高

売上高 **363**億円 (前年同期比0.4%増)

オフィス改革ソリューション「EmpoweredOffice」を柱とした提案活動を強化した結果、金融業向けや製造業向けなどが拡大しました。

また、環境・エネルギー等の成長分野においても着実な成果をあげ、前年同期比増加となりました。

売上高推移
(単位：億円)



※予想値は、2010年10月28日現在のものです。

キャリアネットワーク事業

主に、通信事業者向けICT基盤に関するサービスを提供しています。また、このような通信事業者向けの高信頼サービス提供力を活かし、大規模かつ広域なICT基盤やデータセンターに関するシステム構築や、これらに関する運用・監視サービスの提供などを行っています。



売上高

売上高 **191億円** (前年同期比13.7%減)

ネットワークのオールIP化や次世代データセンター構築などは堅調でしたが、次世代ネットワーク (NGN) 投資の一巡、移動体通信事業者の投資抑制等の影響により、前年同期比減少となりました。

売上高推移
(単位：億円)



※予想値は、2010年10月28日現在のものです。

社会インフラ事業

主に、官庁・自治体や公益法人(放送事業者、電力事業者など)向けにICTインフラに関するシステム構築や運用・監視等関連サービスを提供しています。また、携帯電話基地局などの通信インフラ工事も行っています。

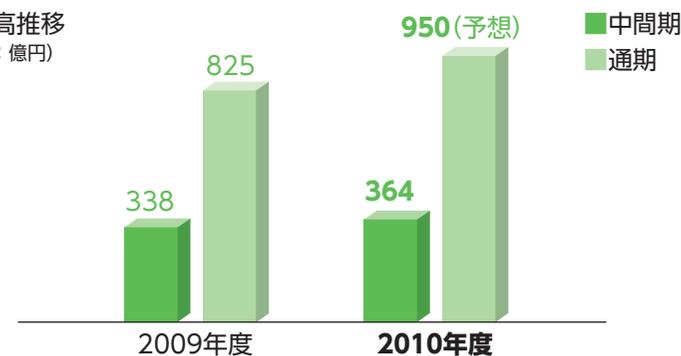


売上高

売上高 **364億円** (前年同期比7.8%増)

通信事業者向けの移動体基地局関連工事や海外向けのインフラ工事が減少したものの、地方自治体向けを中心とした地域情報化関連が大きく伸びたことにより、前年同期比増加となりました。

売上高推移
(単位：億円)



※予想値は、2010年10月28日現在のものです。

▶ 会社概要

商号 NECネットワークスアイ株式会社
 英文商号 NEC Networks & System Integration Corporation
 証券コード 1973 (東証1部上場)
 設立 1953年11月26日
 資本金 13,122,268,265 円

▶ 連結子会社

〈国内〉 ネットスアイ東洋株式会社
 トーヨーアルファネット株式会社
 NECネットワークスアイ・エンジニアリング株式会社
 NECネットワークスアイ・サービス株式会社
 株式会社ネックアセレント
 株式会社ニチワ

〈海外〉 NESIC BRASIL S/A
 NESIC (Thailand) Ltd.
 NESIC PHILIPPINES, INC.
 P.T.NESIC BUKAKA
 耐希克(广州)有限公司
 Networks & System Integration Saudi Arabia Co.Ltd.
 TNSi Europe GmbH

▶ 取締役および監査役

代表取締役執行役員社長	山本 正彦
取締役執行役員常務	飯島 裕雄
取締役執行役員常務	今野 幸四郎
取締役執行役員常務	藤田 厚
取締役執行役員常務	金箱 明憲
取締役執行役員常務	原 隆彦
取締役	役 松井 隆幸
取締役	役 脇田 昇
監査役(常勤)	金子 隆男
監査役(常勤)	林 安男
監査役	梅澤 治為
監査役	戸塚 靖雄

(注) 1. 取締役 松井隆幸氏および脇田昇氏は、社外取締役です。
 2. 監査役 金子隆男氏、梅澤治為氏および戸塚靖雄氏は、社外監査役です。



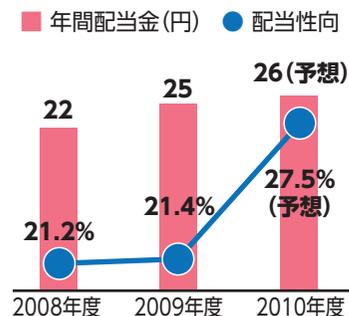
環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

NECネットワークスアイ株式会社
 NEC Networks & System Integration Corporation

〒112-8560 東京都文京区後楽二丁目6番1号
 TEL (03) 6699-7000 <http://www.nesic.co.jp/>

▶ 配当性向・配当金の推移

当社では、新分野・成長分野への戦略的投資に向けた内部留保も重視しつつ、連結業績や財務状況等をも総合的に勘案し、株主の皆様の期待に一層応える利益配分を行っていく方針であります。



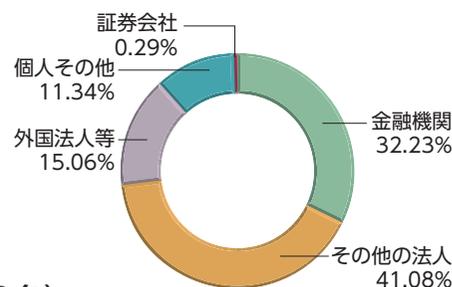
▶ 株式の状況

発行可能株式総数
100,000,000株

発行済株式の総数
49,773,807株

株主数
10,347名

▶ 所有者別株式分布状況



▶ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本電気株式会社	19,106	38.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口)	6,400	12.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,955	9.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,910	3.84
住友不動産株式会社	1,200	2.41
MELLON BANK, N. A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	769	1.55
THE CHASE MANHATTAN BANK, N. A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	744	1.50
NECネットワークスアイ従業員持株会	744	1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	613	1.23
NORTHERN TRUST CO AVFC RE NORTHERN TRUST GUERNSEY IRISH CLIENTS	495	1.00

(注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口)の持株数は日本電気株式会社が退職給付信託として当社株式を提出したものであり、実質的には日本電気株式会社の議決権に含まれます。よって、2010年9月30日現在の日本電気株式会社の実質的な議決権保有割合は51.44%であります。
 2. 持株比率は、自己株式(41,734株)を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度
毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会
毎年6月開催
- 基準日
定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所
東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 公告方法
電子公告により、当社ホームページに掲載いたします (<http://www.nesic.co.jp/>)。
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

[株式に関するお届出およびご照会について]

- ・郵便物等の発送と返戻について
- ・支払期間経過後の配当金について
- ・特別口座に関する事項
(特別口座から一般口座への振替請求等)

➡ **住友信託銀行**
☎ 0120-176-417

- ・単元未満株式の買取・買増請求
- ・住所・氏名等の変更
- ・配当金の受領方法(銀行振込等)の指定

➡ **株主様がお取引のある証券会社**

※証券会社に口座をお持ちでない株主様は上記の住友信託銀行

当社の最新情報、IR情報入手は
WEBサイトをご活用ください。

NECネットワークスアイ

検索

<http://www.nesic.co.jp/>